

2021 年度(令和 3 年度) 自己点検・評価報告書

学校法人 二葉総合学園

二葉ファッションアカデミー

2022 年 5 月 1 日作成

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	2
1-2 学校の特徴はなにか	3
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4
基準 2 学校運営	5
2-4 運営方針は定められているか	6
2-5 事業計画は定められているか	7
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	8
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	8
2-8 意思決定システムは確立されているか	12
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	13
基準 3 教育活動	14
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	15
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	16
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	17
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	18
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	19
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	20
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	23
3-17 資格取得の指導体制はあるか	24
基準 4 教育成果	25
4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	26
4-19 資格取得率の向上が図られているか	27
4-20 退学率の低減が図られているか	28
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	29
基準 5 学生支援	30
5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	31
5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	32
5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	33
5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	34
5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	35
5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	36
5-28 保護者と適切に連携しているか	37
5-29 卒業生への支援体制はあるか	38
基準 6 教育環境	25
6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	40
6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	41
6-32 防災に対する体制は整備されているか	42

基準 7 学生の募集と受け入れ 44

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか 45
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 46
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 47
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか 48

基準 8 財務.....エラー! ブックマークが定義されていません。

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるかエラー! ブックマークが定義されていません。
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているかエラー! ブックマークが定義されていません。
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているかエラー! ブックマークが定義されていません。
- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているかエラー! ブックマークが定義されていません。

基準 9 法令等の遵守 49

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 55
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 56
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 57
- 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか 58

基準 10 社会貢献..... 59

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 60
- 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか 62

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の精神のもと、服飾全般について高度な専門的学術を教授練磨し、衣生活の改善向上に真に役立つ技能者を育成して社会に貢献すると共に、生徒の一般教養を高め、その品性を陶冶することを目的とし、その実現に向けて取り組むことが学則に明示されている。</p> <p>3校一元化を推進するなかで、2020年からFUTABA中期計画を学園で策定、3カ年計画として、</p> <ol style="list-style-type: none">1号館・2号館の建物を対象にした営繕計画の作成。ファッションアカデミーの抜本的な改革（存続の有無を含む）令和2年5月20日までに決定する。教職員の研修及びセミナーの積極的な参加（教員の質保証に対応）各自年間3回は受講する。新たな情報開示計画の作成（学業評価の公開化、カリキュラム、シラバスを含む）公開スケジュール作成。企業連携の再構築（見直しと取り組み）が示された。	<p>本校の教育理念・目的・育成人材像は明確且つ具体的に示されており、学生や教職員等学校関係者だけでなく学外にも公表されている。</p> <p>2012年度には、専門課程昼間部学科を統合し「ファッション総合学科」を新設。組織的な職業教育を行う「職業実践専門課程」として申請、2014年3月31日に文部科学大臣より認定を受けた。これにより、企業等と連携した実習及び組織的な教員研修を強化することで、教育の質向上を図ってきた。</p> <p>さらに、2015年度には文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、試行事業として第三者評価を受審、適切な学校運営が行われていると認定され、学生・生徒から選ばれる学校を目指し学園全体で質の高い職業教育を実践してきた。</p> <p>しかしながらファッションアカデミーの抜本的な改革については、大学進学率の高まり、職業の多様化や18歳人口減少など様々な要因が重なり、学生・生徒の減少が顕著となり、様々な取り組みを行ってきたものの改善するに至らなかった。今後、大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらず、学校法人として強く求められる安定性・継続性に依っていかため、止む無く理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって学校廃止をすることとなった。</p>

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確且つ具体的に定めている。	理念・目的・育成人材像について学則及び学校運営体制等で示しており、第三者評価においても認定されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・学校運営体制 ・学校案内書 ・FUTABA 中期計画 ・理事会議事録
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	中長期計画及び単年度テーマを定めている。	2020年度から新たな3カ年中期計画及び単年度計画を定めている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営体制 ・学校案内書 ・FUTABA 中期計画 ・理事会議事録
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	時代の変化を見極め適宜見直している。	2020年度から新たな3カ年中期計画及び単年度テーマを定めている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内書 ・FUTABA 中期計画 ・学校関係者評価議事録 ・教育課程編成委員会議事録
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学内はもとより学外にも広く周知を行っている。	校内に建学の精神を掲げるとともに、ホームページ等でも広く周知を図っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内書 ・学校関係者評価 (HP) ・フェイスブックページ

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

<p>点検中項目総括特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等) 建学の精神に基づいて目的、育成人材像は具体的且つ明確に示されており、時代の変化に合わせて常に見直しを行っている。又、外部からの意見についても積極的に収集し、外部の委員で構成される学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の意見を教育活動に反映させている。</p>	<p>時代の変化に合わせて見直しを行う中で、2020年度から新たな3カ年中期計画を定めた。</p>
---	---

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	より実践的で高度な実学教育の提供及び学生・生徒に寄り添った教育を特色としている。	学生・生徒オリジナルブランドの設置及び販売、積極的な企業等との連携、東京コレクションへ唯一専門学校として参加してきた。	コロナ禍の元、東京コレクションに於ける発表は行えなくなり、マルシェでの販売にシフト。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内 ・学校運営体制 ・第三者評価報告書 ・東京コレクション参加報告書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

<p>点検中項目総括 学校案内に記載している本校の特色は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少人数クラス編制の充実した教育環境 2. 最新の設備・教育プログラムで実践的授業 3. インターンシップ（職場研修）制度 4. 「実践力」を備えた人材作り の4点である。 	<p>地域に根ざした職業教育を实践、オリジナルブランド「ハハ」を商標登録、専門学校として初めて「東京コレクション」に参加、8シーズンに渡り継続して参画した。</p>
--	--

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	中長期計画を策定し、将来構想を描いている。	2020年度より、新たに3カ年中期計画を定めている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営体制 ・理事会議事録 ・FUTABA 中期計画

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） 中期計画及び単年度計画をもとに、学生・生徒から選ばれる学校作りを日々目指した。その中でファッションアカデミーの抜本的な改革が課題であったが、克服するに至らなかった。	特になし。中期計画の課題であった、ファッションアカデミーの抜本的改革については、今後大幅に学生・生徒が増加する要因も見当たらないため、理事会において募集停止の決議に至り、2023年3月をもって廃校することとなった。
---	---

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校（学園）の建学の精神「涵養の精神と職業人としての自立」及び学則に目的を具体的に示し、教職員・学生・生徒に徹底している。教育指導面においては、運営体制案に示した「目指す学校及び中期目標と方策」の内容に則した指導を行うことで、ぶれない教育を目指すと共に、学生、生徒のレベルアップを果たした。</p> <p>学校運営については、各種審議事項を理事会、評議員会、校長会、教職員会、各種委員会に諮り執行している。2020年度から、FUTABA 中期計画として3カ年計画を学園で策定、2020年度の単年度計画として、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 職業英語の学習を全職員参加（授業、OP等）で実施する。2. 学園全体で1年を通し「うがい」「手洗い」の習慣化を取り入れる。3. それぞれの学校行事を3校一元化を前提に捉え計画・実行する。 <p>が明示され、これに沿った学校運営を展開した。</p>	<p>昨年に比べ、コロナ禍においても従来と遜色のない授業・実習を心掛け、高等課程・専門課程共に、校外研修や見学を行い、作品発表もリアルとバーチャル両面で実施した。高等課程では、昨年実施できなかった修学旅行を、2年生と3年生合同で実施をした。企業との連携授業も2社と行い、SDGsの観点と、小売りでの接客及び作品発表の実習が行えた。学生・生徒において、感染者及び濃厚接触疑い発生時には休校を防ぐ為、速やかにオンライン授業に切り替え実施をした。</p>

最終更新日付

2022年 5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	理事会決定事項を基に「学校関係者評価委員会」での意見を参考にしながら、毎年度学校運営体制を明確に定めている。	学園の単年度テーマを基に、「次代に向けての改革」を教育テーマとした。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営体制 学校関係者評価委員会議事録 第三者評価報告書
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	各種会議等を通し、校長より明示している。	各種会議にて教職員に明示している。メール等にて情報共有に努めている。	グループウェアを導入し効率化を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員会議議事録 校長会議事録
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	5	各諸規定が整備されており、重要事項はグループウェア内の文書共通管理ボックスに格納している。	法人における各種諸規定については、校長会→評議委員会→理事会を経て決定される。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 各会議議事録 各種諸規定 第三者評価報告書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会で承認を受けた中期計画を基に、学校運営計画を毎年度明確に定めている。各年度、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等にてその検証を行い次年度に繋げている。	学校運営については学内だけではなく、学外の委員から構成された「学校関係者評価委員会」、「教育課程編成委員会」での意見を積極的に反映させている。

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	各校で立案した事業計画は理事会で承認を受けることにより、成立する。	年度毎の学校運営体制案を立案、事業計画に基づき業務を遂行している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営体制 年間行事予定表
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	各諸会議に於いて調整され運営されている。	<ul style="list-style-type: none"> 年間事業計画の策定 年間行事予定表の作成 行政からのガイドライン 	コロナ禍における行政からの指針を基に対応をした。	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事予定表 各種事業実施報告書 新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン（文科省）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成する学校運営体制案の中で事業計画は定められており、これに沿って年間行事が定められている。昨年度に引き続き、コロナ禍により都度状況を見ながらの対応をした。	コロナ禍の影響により、変更を余儀なくされた部分もあった。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	法人組織図が整備されている。	法人組織図及び校務分掌が明示されていることで、責任の所在が明確になっている。	特になし。	・法人組織図 ・校務分掌表
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	組織図等に基づいた会議体を整備したことにより、効率的なものになっている。	法人理事会、評議委員会、校長会及び諸会議の開催。	特になし。	・理事会議事録 ・評議委員会議事録 ・校長会議事録 ・運営会議議事録 ・会議体規程
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	校務分掌により明確になっている。	校務分掌表を作成している。	校務細分化により、情報の共有が図れていない面が見受けられた。グループウェアの一層の活用が必要。	・校務分掌

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） 学校運営組織は、法人理事会・評議委員会・校長会及び諸会等にて明確に定められており、効率的且つ合理的なものになっている。

グループウェア導入により、業務の効率化と情報共有が進んだが、まだ十分とは言えない。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	採用責任を明確にし、人事考課項目と連動した面接評定書を備える採用稟議書制度に則り、公募による人材確保を行っている。	採用段階と入職後の人事考課とを連動させることで人材目標を明確にしている。	人材目標の具現化。採用・教育・配属・評価・処遇の一連の流れを全教職員の共通理解としていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度 ・採用稟議書 ・人事異動申請書 ・退職面談票
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	骨格となる制度は整備できており、運用面の改定を随時行っている。	職種・職階毎の人事考課シートの策定	人事考課は成長育成のためであることを定義し、人事考課シートの名称変更をおこなったものの、依然として目標設定の理解にバラつきがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の理念 ・中期経営計画書 ・学校事業計画 ・成長育成シート
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	昇進・昇格制度は整備されている。更に各校・各職種毎のキャリアパスが明文化されている。	各校長と協議して策定したキャリアパスを評議員会・理事会で決議し、全教職員に展開している。	成長育成シートの浸透による、公正性・納得性の担保および内発的動機付け。	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度 ・人事異動申請書

2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている。	人事考課制度の改定に伴い、賃金制度との整合性を取りながら、給与体系の整備を行っている。また働き方改革関連法である、同一労働同一賃金の法改正に対応した給与規定改定を行った。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度 ・就業規則 ・給与規程
----------------------	---	---------------	---	------	---

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題と方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。	就業規則を根拠として、採用フローに関連する帳票類も整備されている。 その他、正職員登用制度も整備されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・採用稟議書 ・給与規定 ・面接評定票 ・成長育成シート
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	増減発生があった場合、その都度、組織図をメンテナンスし、グループウェアで共有している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人組織図 ・人工推移表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
制度整備は進んでおり、浸透を進めながら、次なる課題設定を行っていきたい。そのためにも、規則規程と制度の包括的なガイドブックを作成して明示できるようにしていく。	三校一元化に伴い、各校各職種のルールを見直して一元化していく必要がある。

最終更新日付	2022年5月26日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	理事会を頂点とし、各会に於いて検討、決定、実施のシステムが整備されている。	理事会、評議委員会、校長会、教職員会議、教務会議、各委員会会議の実施と共に、学校関係者評価委員会会議、教育課程編成委員会会議の実施。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 各会議議事録 会議体規程
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	制度化されている。	理事会、校長会、教職員会議、教務会議、各委員会会議の実施と共に、学校関係者評価委員会会議、教育課程編成委員会会議の実施。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 各会議議事録 会議体規程
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	階層・権限等のシステムは整備されている。人材確保と育成については工夫が必要。	学園組織図で階層が明確化されている。人材育成については、成長育成ソートを人事考課で用いている。	管理職において、人材育成が十分に出来ているとはいえない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 会議体規程 人材育成シート

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

意思決定のシステムは確立されている。各部署での責任の所在を明確にすることで業務の効率化を図っているが、十分に機能していない面もある。

管理者研修及び英会話研修を学園内で実施。人材育成に努めている。各会議体においてより一層の情報共有をする必要があり、そのためにはグループウェアを使いこなす必要がある。人材育成は重要な課題と認識しており、管理職のより一層の意識改革が必要。

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	5	働き方改革宣言を行い、業務の効率化、生産性の向上を図っている。	グループウェア(NI コラボ)を導入し、情報をタイムリーに見える化して共有することで、業務の効率化、生産性の向上を図っている。	特になし。	特になし。

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

グループウェアを使いこなすことで、より一層の業務改善が図れる。

グループウェアをより使いこなしていくなかで、情報流出のリスク管理に最大の注意を払うことが必要。

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>少子化及び厳しい経済環境の中、専修学校が生き残っていく為には、即戦力となる高度な職業実践的教育の提供が不可欠である。特に専門課程においては、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的としてファッション分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う必要があり、これらを構築するべく、専門課程ファッション総合学科については文部科学省に申請、平成 26(2014)年 3 月 31 日付をもって「職業実践専門課程」として認定された。</p> <p>この認定に則し業界・団体と連携した教育課程の編成及び授業の実践、教員のスキルアップを目的とした研修を通し、職業教育の水準の維持向上を図っている。又、実践的な職業教育の一環として学生・生徒作品販売の場「二葉ファッションマルシェ」を展開している。</p> <p>高等課程においても、一般高校とより一層の差別化を視野に入れ、専門課程と連動したファッションに特化した教育を実践、生徒の職業理解に繋げた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■二葉ファッションマルシェのスポット企画・運営（学生作品等販売） ■社会問題ともなっているアパレル商品のロスに取り組むべく、オンワード・リユースパークとの企業連携により回収衣料を利用したアップサイクル雑貨の企画・製作・販売を実施。 ■丸井吉祥寺店との企業連携により 4 階売り場の一部を使用して卒業・修了作品展を開催。また、来場者のアテンドとワークショップスタッフとしての対応を店舗での接客実習として実施。 ■東京・多摩ファッションネットワークの運営 ■教員研究会・研修会の実施 ■地域コミュニティとの連携（武蔵野市商工会議所、八王子市商工会議所）

最終更新日付	2022 年 5 月 1 日	記載責任者	葭井 摩美
---------------	----------------	--------------	-------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	各学科に対応する業界ニーズに則し、方向付けられている。	就職支援室から教務課へ常にフィードバックを行うことで、方向付けを確認、修正を行っている。	ファッション業界はコロナ禍の影響を強く受け業界側の採用予定が大きく変化するため、情報収集のスピードと質が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業編成表（時間割） ・シラバス ・職員会議議事録 ・卒業生進路一覧

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種業界セミナー及び交流会等は徐々にリアルな対面型に移行しつつあるが、引き続き、企業担当者、人材派遣企業と連携を取り、採用状況や業界ニーズの把握に努めていると共に、教育課程編成委員会の意見を基に方向付けを行っている。	業界は常に変化しており、それに合わせたスピード感と情報の正確さが求められている。また、コロナ禍の影響を受け、求人予定や時期は引き続き不透明であった。次年度に向けても就職支援室と教務課のスピード感をもった連携が今後も肝要である。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	荻井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	定められている。	到達可能レベルをシラバスにて示している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業編成表（時間割） ・シラバス

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
積極的に業界ニーズの把握に努めると共に、教育課程編成委員会の意見を反映させ方向付けを行っている。その結果、学生・生徒のモチベーションやプレゼンテーション能力が上がっている。就職希望学生・生徒の就職内定、または希望校・希望学科への進学先決定を達成した。	業界の人材ニーズレベルが上がり、職種ごとのスキルの多様性と高い資質が求められている。販売職と技術系専門職が混在するクラスで目的に合った指導を行うことが必要であった。また、職種変更をする学生に対して指導の見直しを行ったが、次年度も同じ編成のため状況を見た見直しが必要となる。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	目標を達成するべく、毎年修正を加えながらカリキュラムが編成されている。	学科ごとに、シラバスにて、時間数・内容等が明確に定められている。	各教科間での課題の進捗や達成状況の確認頻度を高め、学びの質向上に繋がる様に務めている。	・シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	業界関係者からの聞き取りを行いまた、教育課程編成委員会の意見を反映させ決定している。	教育課程編成委員会を年2回開催、他に積極的な産業界との交流を行っている。	特になし。	・教育課程編成委員会議事録 ・教務規則
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。	教育課程編成委員会で示された内容を基に、校長・教務主任を中心として、毎年カリキュラム編成を行っている。	一つの学科で対応する職種が複数あり、それぞれの要求度を反映させると、学生に求める質・量が増えてしまう。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・教務規則
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	5	毎年度、見直しを行っている。	同上	特になし。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・教務規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは教育課程編成委員会にて示された内容を基に、目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。 又方向を見誤らない為に、常に教職員が業界団体及び教育団体と交流を持ち、積極的な参画を心掛けている。	「教育課程編成委員会」の設置。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5	各学科の到達目標を基に、適正な位置づけがされている。	授業科目、教育内容、年間時間数が明確に定められている。	特になし。	・学則 ・シラバス
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	科目ごとにシラバスを作成している。	授業概要及び到達目標、授業計画が記載されたシラバスを作成している。	特になし。	・シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	5	シラバスは一コマごとの授業シラバスを作成している。	コマシラバスを作成している。	特になし。	・シラバス

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。シラバスについても出来る限り細分化した内容にすることで、学びの見える化を心掛けている。	講師との連絡を密に取り、各科目間での関連付けを行っている。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	専門課程・高等課程共に授業を含め、学校全体としての評価を実施し、学生満足度の向上に努めている。	5段階評価による、学生満足度アンケートを実施。内容に応じて対策を講じる。	特になし。	・学生満足度アンケート ・運営体制台帳
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	5	学生満足度アンケートを基に、適宜検討・評価・指導をしている。	校長による授業見学及び学生満足度アンケートを基に、適否を検討。必要に応じて担当講師に授業内容の改善や変更を依頼している。	特になし。	・学生満足度アンケート ・運営体制台帳

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高等課程では保護者会の中から意見を吸い上げ授業運営及び学校運営の参考としている。	評価の中で設備面など即座に改善が難しいものも存在する。対応可能なものは学生からの意見や希望学生からの意見を教員間で把握し、随時改善に努めている。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	専門性、資格等必要条件を備えた教員を確保している。	教員履歴書により確認。校長・教務主任による定期的な面接及び授業参観により、その資質を確認している。	より高度な人材を求める状況の中で、時代に即した高い専門性を持った教員の育成を継続して行う。	・教員履歴一覧
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	5	業界レベルに対応している。	教員・講師の採用に関しては、専門性のレベルや鮮度の観点から職歴・更新期間を配慮している。	特になし。	・教員履歴一覧
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	5	校長による教員の専門性の把握と評価を適宜行っている。	授業成果等に問題がみられる教員について面談と指導をした上で評価を行っている。	人事考課シートに基づき評価を行っている。	・人事考課シート ・フィードバックシート
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	5	例年夏季期間等に全専任教員が企業研修に参加している。2021年度は1名のみ条件が整わず不参加。	私学財団等のオンラインをはじめとするセミナーを活用し専門性を向上させた。	特になし。	・教員研修一覧 ・教員研修報告書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	5	教務課内で教授力をチェック。教員の教授力の把握を、面接等を通じて行っている。	教務主任が中心となり、教授内容をチェックしている。特に問題が見られる教員については面談を行い具体的な指導を行っている。	特になし。	・人事考課シート ・フィードバックシート
3-15-17 教員の教授力 (インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	5	研修期間を設け、教授力の向上を図っているが、2021年度においてはコロナ禍により従来型の研修、発表会を行うことはできなかった。	2021年度も、オンラインのセミナー等への参加をした。	特になし。	・教員研修一覧 ・教員研究発表
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	必要に応じ、教員間での協力・協業が行われている。	職員会議及び教務会議において、情報交換の他教育面等での協力・協業について協議している。	業務が多岐にわたり、経験・知識の差による業務負担のアンバランスが生じている	・教務会議議事録
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	4	協業をしているが、十分とはいえない部分もある。	学校行事等では十分な協業が見られるが、日常では講師の時間的制約がある。	相互にスケジュールを調整しコミュニケーションを密に取ることにより、連携体制構築を図る必要がある。	特になし。

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	4	明確になっていない面もある。	学歴、職歴、学術的業績等を総合的に判断しているが、学校側のニーズをすべて満たすような人材確保が難しくなっている。	2022年度はクラス数減少から継続の非常勤講師も減少となる	・面接評価シート

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門性・資格等必要条件を備えた教員を確保しているが、その採用基準については明確ではない部分がある。又、非常勤講師との連携が時間的制約もあり十分ではない部分については適切な時期に協業体制が取れるよう事前準備を行う。	業界で求められるスキルは日々変化している。教員は現状に満足することなく、ニーズに見合った専門性の追求を行うことが必要。ファッション分野を起点に視野を広げた研修先の開拓も行う。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	明確になっており、教員・学生に周知されている。	学業評価及び課程修了要件が学則に定められている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・進級卒業判定会議 ・教務規則
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	3	明確な基準がない面がある。	単位互換について明確な定めがなされていない。	明確な基準作成や単位制への意向は難しく解決方法が見いだせていない。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については明確に規定されているが、特に専門課程については他の高等教育機関との単位互換に関する明確な基準がない。	特になし。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	葭井 摩美
--------	-----------	-------	-------

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	各資格は明確に定められ、周知されている。	取得可能な資格は学科やカリキュラムごとに明記されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・第三者評価報告書
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	資格取得を十分サポート出来る内容となっている。	各資格取得について授業外の特別補講も実施している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学案内

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

<p>ファッション分野における資格取得が必須でないため、その必要性を学生に理解してもらうことが前提となる。授業内での学びが資格取得に結び付くことで授業の意義を見出しやすい状況がみられる。</p>	<p>ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定においては授業内で問題集を取り入れた学習を実施。受験する学生が増えた反面、対策不足の学生もおり、合格率は伸び悩んだ。またパターンメイキング能力検定ではコロナ禍による会場確保の問題から日程が学校行事に影響し、2名が実技を棄権する結果となってしまった。</p>
---	--

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

葭井 摩美

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育成果について指標を 4 点設定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進路決定率（高等課程）及び就職率（専門課程・一般課程） 2. 各種検定試験合格率 3. 中途退学率 4. 外部コンテスト等受賞実績 <p>本年度高等課程の進路決定率は 100%、求職者に対する専門課程の就職率は、100%</p> <p>各種検定試験合格率は洋裁技術認定初級で 80%、専門課程でも・F 販売検定 2 級 50%3 級 78%・F ビジネス検定 2 級 100% 3 級 50%の合格者もあった。</p> <p>中途退学率については高等課程 0.0%、専門課程 28.3%と課題を残した。コミュニケーション、人間関係構築不足が主な原因である。</p> <p>学校満足度アンケートを精査しその原因を明確にしていく。両課程ともに、教育内容のレベルアップを図りつつ、学生・生徒に寄り添った指導と心のケアが大切である。</p>	<p>■専門課程・一般課程</p> <p>八王子 T シャツデザイン画 100 選 クリエータ部門入賞 1 名 新宿ファッションフィールド デザイン画部門銅賞 1 名</p> <p>■高等課程</p> <p>全国服飾学校第 37 回ファッションコンクール 文部科学省総合教育政策局賞 1 名</p> <p>第 20 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 ファッション甲子園 2021 審査員長特別賞 1 グループ</p>

最終更新日付	2022 年 4 月 28 日	記載責任者	渡邊 基吉
--------	-----------------	-------	-------

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	専門・高等課程共に、担任・就職支援担当の連携により向上を図った。	<ul style="list-style-type: none"> 求職者就職率 専門課程 100% 7名就職、 高等課程就職率 100% 4名 進学率 100% 2名 	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事予定表 年度別就職状況一覧
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	学園全体で年度別就職先一覧を作成し把握に努めている。(専門課程・高等課程)	高等課程進路決定率 100%。 就職希望者に対する専門課程就職率 100%	就職成果については、年度ごとの成果を進路実績資料としてファイリングしており、推移については継続して分析している。	<ul style="list-style-type: none"> 年度別就職状況一覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
専門課程、高等課程共に早期に進路を把握し、適切な指導を行なった。また途中段階での志望職種見直しを行ない、職種に対する理解を広げて内定を獲得した例もある。学生が内定獲得まであきらめず就職活動を継続する根気と選ばれるためのスキルを身につける指導の継続が必要である。	今年度は、希望職種に内定獲得することが出来た。しかし、卒業間際まで、進路が決まらない学生がいた。求職者に対する就職内定率は 100%に達した。内定獲得まで学生のモチベーションを保ち、活動を継続させた。2022 年度は、早期に進路を決定させ、早期に内定獲得する指導が必要である。入学当初より、進路・職業意識を高めていく必要がある。

最終更新日付	2022年4月28日	記載責任者	渡邊 基吉
--------	------------	-------	-------

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	授業以外に必要な応じて試験対策講座を放課後実施している。	資格によっては授業内容でカバーできないものや万全を期すため、授業外での対策講座を行っている。	資格の受験者及び合格者は、向上したが、資格によっては合格者が、全国平均合格率を下回った。授業外での試験対策講座を放課後に実施し資格取得向上に努めていく。	・各資格別合否一覧
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	全国平均合格率と照らした本校の合格率を表にし、次年度への検討材料としている。	特になし。	・各資格別合否一覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
検定試験ごとに担当者を配置し、授業内外で対策を行なった。資格により、受験者及び合格率に差が出ており、F ビジネス検定・F 販売検定は、全国平均合格率以上の合格者率に達した。しかし、資格によっては、全国平均合格率を下回った検定もあった。資格取得に向け教員、学生・生徒の認識にズレがないようにし、資格取得率向上に努める。	全国平均合格率が下回った資格においては、授業外の補講でカバーし、全体の検定試験の全国平均合格率を上回るよう対策を行う。

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊 基吉

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が図られているか	2	学生間での、コミュニケーション、人間関係構築不足、対人関係によるトラブルや登校の習慣がついていない学生に対してフォローが十分ではなかった。	専門課程 退学率 28.3% (昨年度 13.8%) 高等課程 退学率 0% (昨年度 0%)	2019年度より、スクールカウンセラーと契約し学生・生徒へのカウンセリングを実施することで低減を目指す。	特になし。
4-20-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	年度ごとの集計により、明確に把握している。	退学者については、退学に至る経緯書を各担当が提出し、広報部門とも情報の共有を図っている。	保護者との連携を密にし、学生・生徒の情報把握をしていく。	・退学に至る経緯書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
精神的な問題と、不登校による出席不足が目立つ。 対人関係によるトラブルなどは、教職員内でのコミュニケーションを図り情報共有する。又、保護者との連携を密にし、学生・生徒の心のケアを教職員全体で行う必要がある。 精神的な疾病等による退学に関しては、家庭との連携も含め、悪化を防ぎつつ学業を続けられるように、学生・生徒一人ひとりに時間をかけ寄り添う姿勢が必要。	目標とする退学率→各課程ともに5%以内。学生・生徒に、月一回のアンケートを取り、授業内での不満、学生間のトラブルなどをヒアリングし教職員全体で学生・生徒の心のケアを行うようにする。

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊 基吉

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3	在校生の情報は得ることが出来ているが、卒業生の社会的活躍は把握できていない。	二葉祭が限定公開となり、その後コロナウイルスの影響により、卒業生の情報が把握できていない。	今年度は、卒業生に、メールや LINE などを使用し社会的活躍を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックページ ・ホームページ ・メール ・LINE
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	起業している卒業生や企業等で重要なポジションを担っている卒業生が数多くいる。SNS 内にて、人気の学生がいる。	卒業生の活躍等を随時WEBで公開をしている。	卒業生のライングループに積極的に介入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックページ ・ホームページ ・入学案内 ・インスタグラム
4-21-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	2	高等課程生徒、専門課程学生とともに、コロナ禍の影響もありもあり、例年に比較し、コンテストの入選・入賞が減った。	全国服飾学校第 36 回ファッションコンクールに高等課程生徒 1 名入選。	コロナ禍における、製作指導及び学生のモチベーション向上の為の方策の検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト等受賞者一覧 ・ホームページ ・フェイスブックページ
4-21-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	4	高等課程生徒、専門課程学生とともに、コロナ禍の影響もありもあり、昨年度に比べ、コンテストの入選・入賞は増えた。	全国服飾学校第 36 回ファッションコンクールに高等課程生徒 1 名が入選。	コロナ禍における、製作指導及び学生のモチベーション向上の為の方策の検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト等受賞者一覧 ・ホームページ ・フェイスブックページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・在校生ともに社会的活躍をしているが、それらをタイムリーに、且つスピーディーに外部発信する仕組みをより強固に構築しなければならず、同窓会組織の活性化が必要。	コンテストの重要性、就職活動時に自らのアピールポイントということを知り、学生・生徒に参加してもらう。又入選するための、製作指導とモチベーションの向上を行っていく。
最終更新日付	2022年4月28日
記載責任者	渡邊 基吉

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学習支援においては、通常授業の補講はもちろんのこと、各種検定試験対策補講、又学生・生徒の自主研究課題に対するアドバイス等も行っている。生活・健康・経済面での支援では、日常の悩み相談から学費納入に関する相談まで、個別に積極的対応を行っている。</p> <p>又、卒業生に対しては転職相談や仕事における技術的相談等門戸を開いて対応している。</p> <p>専門課程の進路支援としては、入学時から月に1度キャリアガイダンスを実施している。高等課程においては、キャリアガイダンスの授業にて、職業理解を進め、進学と就職両方を見据えながら行っている。</p> <p>進路に関しては、学生・生徒一人一人の適性を見極めて、個別に指導を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業内補講 ファッションビジネス能力検定/ファッション販売能力検定/色彩能力検定・授業外補講 パターンメイキング検定3級/2級 ファッションビジネス能力検定/ファッション販売能力検定/色彩能力検定 洋裁技術認定初級 補講と模擬試験

最終更新日付

2022年4月22日

記載責任者

渡邊基吉

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	就職・進学指導の体制は整備されている。	学園全体の就職支援室と連携し、専門課程・高等課程とも、入学時より計画的に指導体制が構築されている。	就職に関し意識が低い学生に対し、関連業界以外も紹介していく事で、就職率を向上させる。	・進路状況調査票 ・就職指導計画表 ・学生アンケート(月次)
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	実施している。	1年次の6月より、計8回のキャリアガイダンスを実施し涵養している。高等課程については少人数の為、個別面談を中心に説明会を実施。	特になし。	・年間行事予定表 ・就職指導計画表
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	実施している。	就職支援室を中心に、教務課担任及び教科担当による個別相談を適宜実施、個別相談時間を十分にとっている。	特になし。	特になし。
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	個別にその都度、就職試験先の企業に合わせ、服装や履歴書の書き方、面接の練習を行っている。	キャリアガイダンス及び個人面談の中で、具体的に指導。	近年WEBでのエントリー等が大半を占め、指導方法にも工夫が必要となっている。	・就職指導計画表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
専門課程においては、合同の就職説明会及び個別相談により個々の適性を見極めたうえで就職活動を支援、高等課程では2年次よりキャリアガイダンスにより進路指導をおこなっているが、就職や仕事に対する理解度に個人差がある。学習分野にこだわらない学生も増え、進路指導に関してはファッション系以外の情報収集の必要性も高まってきた。高等課程では、生徒により進路に対する意識の差がある為、個別指導を重視した内容としている。	特になし。
最終更新日付	2022年4月28日
記載責任者	渡邊基吉

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	各クラス担任を中心とした相談体制が整備されているが、十分とは言えない。	結果として、退学者が出てしまい、昨年度より退学率が、微増となった。	コミュニケーションが苦手な学生に対し、学生間の人間関係構築に関わっていく必要がある。	特になし。
5-23-6 学生相談室を開設しているか	4	スクールカウンセリングを開設している。	スクールカウンセリングを開設。各種相談に応じたが、担任への相談が多く、相談室の利用は活発でない。	相談時間の確保に苦慮している。	特になし。
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	5	専任カウンセラーは常駐していないが、カウンセラーを契約し、要望に応じカウンセリングをお行っている。	学園として、社会経験豊かなキャリアカウンセラーを設置している。また、2019年度よりスクールカウンセラーと契約し、学生・生徒へのカウンセリングを実施した。	特になし。	特になし。
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	専任の担当者を配置し、留学生の相談に対応している。	教務課で1名、事務局で1名を担当として配置。	教務課及び事務局が一丸となって経済面等の相談に対応する。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
担任・教務主任・校長とそれぞれの段階による学生相談を実施する体制を整備している。学習習慣が身につけていない学生が増え、出席・課題への取り組みに問題が出た。各担任は相談を待つのではなく、積極的な声掛けを行っている。学生間の対人関係によるトラブルや、登校の習慣がついていない学生に対してのフォローが十分ではなかった。	経済的な理由での退学者については、入学前に家庭環境を知る必要がある。学生から希望があれば予約相談を迅速に行う等対応をしている。
最終更新日付	2022年4月28日
記載責任者	渡邊基吉

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	学費の延期納入及び分割納入に対応、奨学金制度の案内を含め整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学後のガイダンスや希望者への説明を行っている。	特になし。	・学生募集要項
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	有効に機能している。	入学時に各種奨学金制度の内容を説明。制度使用者が年々増加している。	奨学金利用者が年々増加傾向にあり、貸与型ではなく給付型の奨学金制度が望まれる。	・奨学金受給者一覧 ・軽減助成受給者一覧
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費の延期納入及び分割納入に対応し、経済的に支援する制度が整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	特になし。	・学生募集要項

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済状況に応じ、延納・分納等による経済的支援を行っており、毎年利用者が増加傾向にある。高等教育の無償化対象校に指定されたので、今後困窮世帯に関しては改善が見込まれる。ただし支援が十分でない家庭も出て来るので、益々の利用条件の緩和が望まれる。	学生・生徒の経済状況に合わせ、無利子での延納・分納に対応しているが、高等課程も就学支援金により、従来より負担が減る家庭が増えるの見込まれる。ただし、家庭との連絡がままならないケースがあり、その対応に苦慮している。

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊基吉

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年4月に健康診断を行い、健康面への支援を行っている。	入学及び進級直後、全員を対象に実施。高等・専門ともに学校保健法に則し適切に実施している。	特になし。	健康診断報告書
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3	保健室を整備し運用している。	ベッド、医薬品を常備している。ベッドについては2021年度より電動式ベッドに変更。	保健室の定期的なメンテナンスを行う。保健室を使用する際、随時担当教員と担任が連携を取り、学生生徒の対応をしていく。	特になし。
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	4	主として担任が相談を受ける体制をとり、場合により担任が付き添う。常駐の医師・看護師はいない。	近隣の病院を指定病院として依頼。	2021年度より、定期的に医師が在駐。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特別な場合は保護者より、学生・生徒の入学前の病歴をお伝え頂けるが、まだまだ把握出来ないケースがあり、緊急時の対応が難しい面がある。個人情報保護法を遵守しつつも、各担任は学生・生徒の状況を正確に把握することで、健康管理を担うことが出来ると思う。	特になし。

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊基吉

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2	クラブ活動はしていない。ボランティアについても積極的に関わっていない。	教職員のみが地域のボランティア活動に参加。学生・生徒はコロナ禍のため、参加を見合わせた。	オンラインでも可能なボランティア活動を検討する。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
分野の特性から授業における課題提出が多い事と、経済難でアルバイトが必須という状況で、課外活動等に学生が打ち込めないのが現状である。現状有志が二葉祭等での発表を目的に、放課後音楽活動等を行っているが、クラブ活動までは至っていない。	特になし。

最終更新日付	2022年4月28日	記載責任者	渡邊基吉
--------	------------	-------	------

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	三鷹に学生寮を完備。管理人常駐の提携学生会館の提供と共に、生活環境への支援を行っている。	学園所有の学生寮の維持及び提携学生会館との契約。又、校舎内に駐輪場を設置、交通費負担軽減に寄与している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 入寮案内（メゾン二葉） 提携学生会館資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
遠隔地からの出身者は、学費以外に生活費や住宅費がかさみ、保護者への負担が大きくなっている。平成 26(2014)年 1 月に三鷹に学生寮「メゾン二葉」を開館、平成 28 年には学園全体の在校生が使用できる学生会館施設として「ピアッツア デラ コンパーニャ」をオープン、学生・生徒の交流の場として開放している。また 1 号館 1 階に、図書スペース及びランチルームを開設し、学生・生徒が自由に使える様になっている。	コロナ禍のため、例年開催しているクリスマス会等を中止せざるを得なかった。

最終更新日付	2022 年 4 月 28 日	記載責任者	渡邊基吉
--------	-----------------	-------	------

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	5	各担任が窓口となり、保護者とは随時連携を行っている。	保護者への学校行事等への参加案内。専門課程、高等課程ともに、学期ごとの保護者会の開催及び授業参観を実施している。また、必要に応じ家庭への連絡、面談等を実施。	特になし。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高等課程については、学校行事の理解及び保護者会への参加が活発である。家庭と学校の連携は不可欠であり、より積極的な学校行事への参加を期待すると共に、日程等についても保護者の立場にたって熟慮しなければならない。</p> <p>専門課程に関しては保護者のかかわりはやや少ない。</p>	<p>専門課程、高等課程とも保護者会は定期的に行っている。出席者は、特定の保護者に限られる傾向がある。</p>

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊基吉

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	同窓会組織を構築しているが、活動が停滞している。	同窓会組織を構築。二葉祭での同窓会開催ができず、その後も新型コロナウイルスの影響で開催されなかった。	卒業生の連絡先情報体系化と組織化。	・同窓会規約 ・同窓会開催資料
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	卒業後も就職活動や転職等の相談や紹介を適宜行っている。	既卒生からの問い合わせや要望に応じ、面談を行っている。	卒業生向けポータル等で既卒求人情報の公開が行える様にする。	・フェイスブックページ ・ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2021年度は同窓会開催ができなかった。	特になし。

最終更新日付

2022年4月28日

記載責任者

渡邊基吉

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>デジタル教育の重要性を鑑み、UVプリンターを、作品制作や商品企画での商品製作に活用している。</p> <p>ファッション総合学科は株式会社オンワード樫山と企業連携を行った。リメイク商品を作製し、オンワード・リユースパーク吉祥寺店の1階にて販売を行った。製品の完成度は高く、大変好評であった。</p> <p>卒業・修了展は、丸井吉祥寺店にて企業連携として、高等課程と専門課程の両課程で開催した。多数の方に来場いただき学生の作品を実際に見ていただく良い機会となった。また、来場者には完成度を高く評価していただいた。</p> <p>又、防災については防火管理者が学校の安全管理に努めている。日頃の啓蒙活動と併せ、年3回の訓練を行うことにより安心・安全な教育環境を実現している。</p>	<ul style="list-style-type: none">■UVプリンターの活用 ■専門課程は株式会社オンワード樫山と企業連携を行い、SDGs についての講義・製作・販売 ■高等課程専門課程共に、丸井吉祥寺店と企業連携を行い、小売店の顧客対応を主とした講義・店補での接客 ■法令で定められた「消防設備点検」「電気設備点検」の実施

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	時代の動向を見極め、教育効果の向上を目指し、施設・設備の充実を心掛けている。パソコンを完備し、授業内容の向上に努めている。	UVプリンターを設置。 ミシンは一人一台を完備。 Wi-Fi 環境の整備。 高等課程において、ノート PC の無償貸与。	特になし。	・備品台帳
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	メンテナンス体制が整備されている。	専門業者とのメンテナンス契約。	特になし。	・各種メンテナンス台帳
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	5	教育環境を整備する為、中・長期計画に基づき更新計画を適宜立案し、更新している。	学校運営計画書を毎年作成している。	特になし。	特になし。

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒アンケート結果を参考にし、生徒の利便性を考慮し、施設設備の充実を行っている。又、機器等の選定については採用側企業等、業界動向を十分視野に入れて行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー対応 ・校舎内駐輪場完備

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	業界企業と密に連携をし、年間を通じて数多くの連携実習を実施、より実践的な実学教育を展開している。	スタイリストや縫製工場へのインターンシップ及び連携実習を実施。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書 ・職業教育連携協力協定書 ・連携授業実施報告
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	研修及び企業とのコラボレーションを数多く実施、その内容を台帳にて把握している。	各課程・学科・学年共に研修願い書の提出により実績の確認を行っている。	インターンシップに於いては、カリキュラムに沿った教育効果の有無を検証する必要がある。 今後の就職率及び採用企業に必要とされる研修を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書 ・職業教育連携協力協定書 ・連携授業実施報告

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より業界企業とコミュニケーションを図ることにより、年間を通じて多くの研修及び企業とのコラボレーションを行っている。	今後連携が充実し拡大することが予想される中で、通常授業との調整を検討する必要がある。

最終更新日付

2022年4月12日

記載責任者

廣江 真里

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	教職員による防災組織及び地区担当消防署と連携することにより体制を整備、有効に機能している。	消防計画に基づき、防災教育を実施。 専門業者による年2回の消防設備点検の実施	特になし。	・防火管理維持台帳 ・消防訓練報告書 ・消防設備点検報告書
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	消防計画に記載し情報を伝達。定期的に見視による点検を行っている。	消防計画を教職員個々に配布をし、周知徹底をしている。特にアイロンの取り扱いについては厳重に注意を促している。	特になし。	・消防計画 ・消防設備点検報告書
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	5	備品ロッカー等の転倒防止措置を講じ、アイロン等の取り扱いについて周知している。	消防計画の配布。防災訓練時に実習時間等の事故防止について周知を徹底している。	特になし。	・消防計画
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	各種保険への加入により、災害発生時に備えている。高等課程では、2018年度より日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入している。	災害傷害保険への加入 インターンシップ活動賠償責任保険への加入 学校賠償責任保険への加入	特になし。	(社)東京都専修学校各種学校協会、(株)東京セントラル・日本興亜損害保険会社・三井住友海上火災保険(株)の加入証明書 日本スポーツ振興センター災害給付加入証明書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	5	3回(9月・1月)の自衛消防訓練を実施した。	消防計画に基づく自衛消防訓練実施計画。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 自衛消防訓練実施結果記録書 防火管理維持台帳

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>防火管理者による防災に対する意識の向上を心掛けている。</p> <p>防災訓練については、パターン化してしまう傾向がある為、その実施方法については常に工夫をしている。(避難訓練、AED訓練、消火訓練)</p>	<p>年3回の自衛消防訓練を実施。(法令では年2回以上)他に地域商店会主催の消防訓練に参加している。防災については学生・生徒に対し、常に注意喚起を促す必要がある。</p>

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理事会において募集停止の決議に至る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 専門課程、高等課程ともに 2022 年 4 月より募集停止。

最終更新日付

2022 年 5 月 1 日

記載責任者

粕谷 徳之

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。 2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。	ファッションアカデミーについては、2022年度から募集を停止、2023年3月をもって閉校とすることとなった。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	NA	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。			

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。	2022年度より、学生・生徒の募集を停止する。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当である。	学費については 10 数年間据え置き。又、体験入学参加者については受験料免除等、負担を軽減している。	特になし。	・学生、生徒募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している。	財務関係書類で確認。	特になし。	・学則

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は、中長期計画に基づき理事会で決定される。	専門課程については、高等教育の修学支援新制度の対象校と認定。学納金の負担軽減の一助となっている。近年、分納及び延滞納入者が増加傾向にあり、学生・生徒の経済的状況に合わせ、適宜対応している。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>・収入 二葉ファッションアカデミー募集停止・コロナ禍による調理希望者減の影響もあり、2020年度と比較して減収となった。 目標定員充足率の達成を財務強化の大きな柱と捉えている。</p> <p>・支出 中期計画および2021年度予算に則して順調に進捗した。</p> <p>・資産運用 資産運用管理規程に則して適切に運用されている。</p>	<p>数値は2021年度実績 （ ）内数値は2020年度実績・【 】内数値は2020年度私立専修学校平均 日本私立学校振興・共済事業団出典の「今日の私学財政（専修学校・各種学校編）」として推奨されている、経営指標として以下項目につき概要を報告いたします。</p> <p>①事業活動収支差額比率 6.7%（10.1%）と前年より低下して、平均【10.7%】を下回った。 ・教育活動収入は、前年比9百万円減の8.9億円となり、主に二葉ファッションアカデミー募集停止の影響を他課程でカバーできませんでした。 ・教育活動支出は前年比0.3億円増の8.3億円となった。高等教育修学支援新制度補助金の会計処理（収入：経常費等補助金・支出：教育研究費）が0.45億円含まれていることを考慮すると実質7.85億円となります。また各種イベントや学生募集ガイドンも徐々に従前に戻りつつあるとはいえ、依然としてコロナ禍の影響があるため目標とする8.0億円にはもう一段の見直しとともに定員充足を並行して注力したいと思っております。</p> <p>②人件費比率 43.1%（41.9%）となり1.2ポイント上昇し、平均【42.3%】も上回った。 昨年同時期に予見していたことですが、教員資格確保のための人員増・同一労働同一賃金に対応するための手当支給による人件費増となっておりコンプライアンスを優先した結果となりました。 引き続き、人件費削減というよりは、2017年度時点の経常収入に戻していく事を最優先課題と捉えており、まずは定員を充足することに注力したいと思っております。</p> <p>③総負債比率 13.9%（15.2%）と着実に改善され、平均【18.0%】を下回った。 借入金返済が予定通りに進捗しており、2号館建設費借入金完済予定である2025年度末に向けて予定通りの進捗となっている。</p> <p>■財務状況■ 2022年度末における借入金総額2.88億円・流動資産18.0億円となり、教育活動支出2年分（2021年度実績では16.5億円）以上の流動資産を積み重ねることができた。目標としている借入金返済後の流動資産が教育活動支出2年分まで着実に進捗しています。 （流動資産内訳） 現預金9.4億円、債権等の安全性金融商品等4.1億円、株式等の収益性商品4.4億円、その他未収入金0.074億円</p>

最終更新日付	2022年5月26日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	引き続き、経常収入が経常支出を上回ることができ、財務基盤は着実に安定しつつある。	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)。	定員充足と収益事業の強化。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表) ・財産目録 ・資産運用規定 ・経理規定等
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	決算情報を開示しており、主要財務数値も私立専修学校統計と比較しながら把握している。	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表) ・財産目録 ・今日の私学財政(日本私立学校振興・共済事業団発行) ・経営指標統計

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
将来に向けて必要な投資は行い、無駄を省くことをガバナンスをきかせながら取り組んでおり、安定化に向けて着実に改善が進んでいる。	1号館(二葉ファッションアカデミー)建設費用借入金が2020年9月をもって完済した効果もあり、運用財産を8,000万円上積みすることができた。

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	事業計画および予算案を精査し、かつ学生募集状況を鑑みて期初に決定している。	各部署からの事業計画および予算、決算書。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 ・予算書 ・評議員会議事録 ・理事会議事録
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	中長期計画及び単年度目標、事業計画に照らして執行され、予算と決算の差異は微差であった。	各部署からの稟議書起案に沿ってチェックしている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 ・稟議書 ・予算書 ・決算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>年度予算計画に沿い、各部署からの予算請求を稟議書によるチェックをもつて適正に処理されている。</p> <p>理事会において四半期毎に予実管理がなされている。</p>	<p>学校単位の管理会計（教育活動事業収支のみ）を行ない、学校単位の収支に対する意識が向上してきた。</p>

最終更新日付	2022年5月26日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	会計監査は公正・正確に行われている。	監事および税理士による監査。	特になし。	決算書 監査報告書
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年次決算の早期化が進み、監査、および評議員会諮問・理事会決議が計画通りに実行できている。	計画通りに実行できており、5月末までに所定の手続きを全て踏まえて確定できている。	特になし。	監査開催案内 理事会開催通知 評議員会開催通知

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務については監査スケジュールを明確に定め適切な監査がなされた。	問題なく余裕をもって年間計画通りになされている。 税理士・監事が同席のもと会計監査を実施する体制を整え4年目を迎えた。 決算内容の確認のみならず、決算から経営課題を協議するなど行われている。

最終更新日付	2022年5月26日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	5月上旬までには決算が確定し、財務諸表を毎年5月末までに公開する体制が整備できている。	5月上旬までに監査を実施し、評議員会による諮問、理事会による決議を5月末までに行っている。	特になし。	・財務諸表（資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表）
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	学校法人会計改正に即して行われている。	ホームページにて公開。	特になし。	・財務諸表（資金収支計算書・事業活動計算収支書・貸借対照表） ※ホームページに記載

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
公的機関・教育機関としての説明責任を果たすべく、学校法人財務諸表（資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表）をホームページにて公開している。	特になし。

最終更新日付	2022年5月26日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営に於いて法務に関する事項、行政指導、所轄庁からの通知及び専修学校設置基準を遵守している。</p> <p>学校教育の基本となる、教育基本法・学校教育法について把握をするとともに、学校保健法や消防法等についても改定毎に迅速な対応を心掛けている。</p> <p>近年、教育改革が加速している中で、東京都私学財団、文部科学省、教育庁、(公社)東京都専修学校各種学校協会、全国専修学校各種学校総連合が主催する会合及び研修会に参加。情報収集と共に、法令解釈による齟齬がないかを常に確認している。</p> <p>2015年に試行事業として受審した、文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」の第三者評価では、法令等を遵守し適正な学校運営をしていることを認められた。</p>	<p>ここ数年、教育行政機関からの行政指導及び通知については、急を要するものが多く見られ、本校のような小規模校にとっては校務に支障をきたすものが多々ある。又、内容も多様化・煩雑化しており、教職員の負担増大による教育の質の低下を招かぬように注意している。</p> <p>コロナ禍に伴う対応では、行政からのガイドラインが、曖昧な表現が多かった為、対応に苦慮した。学生・生徒に不利益がないよう、そして学びを出来る限り止めないよう最善の努力を行った。</p>

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	学則及び中期計画に照らし合わせ、専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	教育行政機関からの通知指導等は各部署に回覧周知させ、特にコロナ禍対応等の重要案件についての対応は学園全体で協議を行った。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会議事録 ・学校関係者報告書 ・校長会議事録
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	教職員及び学生・生徒に対して、積極的な啓発活動を行っている。	教職員へはメール・職員会議等において、学生・生徒へはホームルームにて周知を行った。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>行政からの通知・通達等に関しては、速やかに全教職員へ諸会議・メールを通し周知、情報の共有を図っている。</p> <p>コロナ禍についての対応は、学校ホームページを有効活用し、学生・生徒・保護者への情報発信を行い、重要事項については書面にて配布をした。</p>	<p>教育行政機関からの生徒・学生への通達は、その重要度により書面にて保護者へも連絡をしている。</p> <p>教育行政機関からの学生・生徒通達の件数が年々増加しており、より一層のホームページ及びSNSを活用が重要。</p>

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	個人情報保護法を遵守理解し啓発活動を行っている。	個人情報保護方針に沿って取扱いが行われている。 学生・生徒を含む学校情報の公開については、承諾が得られた場合のみ公開を行っている。	特になし。	・個人情報保護方針 ・情報公開承諾書
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	日頃よりホームルームを通じて注意を促している。	ホームルームでの啓蒙活動。	特になし。	・個人情報保護方針 ・情報公開承諾書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の取り扱いについては、日頃より注意喚起を促している。高等課程の生徒に限らず専門課程の学生についても、その危険性を十分に理解しているとは言えず、機会あるごとに注意喚起を促している。繰り返し注意をする必要がある。	データ管理については、教務課内で徹底し、定期的に SNS を巡回監視している。

最終更新日付	2022年5月1日	記載責任者	粕谷 徳之
--------	-----------	-------	-------

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	5	自己点検・自己評価を毎年度実施、これを基に学校関係者評価へと繋げ、諸問題に積極的に取り組んでいる。	年2回以上開催している学校関係者評価委員会の中で、外部委員の意見を取り入れながら改善に努めている。	特になし。	・自己点検・自己評価報告書 ・学校関係者評価委員会議事録
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	方針及びその目的は明確に定められている。	目的及び方針は、自己点検及び評価等実施委員会規定に明記され、確立されている。	特になし。	・自己点検及び評価等実施委員会規定
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	方針を正確に伝え、各部署においてその方針を真摯に受け止めている。	書類作成における正確な情報提供及び課題の抽出。	各部署による一層の連携。	・自己点検・自己評価報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価を毎年度実施、これを基に学校関係者評価へと繋げ、問題点の改善に努めている。	特になし

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	毎年6月から7月を目途に、前年度に対しての自己点検・自己評価結果を更新、公開をしている。	学校ホームページに掲載。	特になし。	・学校ホームページ
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	公開についての方針は、実施委員会規定にて確立されている。	二葉ファッションアカデミー自己点検及び評価等実施委員会規定第9条に公表を明示。	特になし。	・自己点検及び評価等実施委員会規定
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	方針を正確に伝え、各部署においてその方針を真摯に受け止めている。	特になし。	特になし	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度評価結果を更新、公表することで積極的な情報公開に努めているが、公表時期が遅れ気味の傾向があり、注意しなければならない。	特になし

最終更新日付

2022年5月1日

記載責任者

粕谷 徳之

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献については学校全体で取り組むべき課題として、地域の各団体等と連携を図る中で行っている。</p> <p>武蔵野市においては地域団体への会場提供、学生オリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の売上金の一部を武蔵野市社会福祉協議会へ寄付を行った。又、地域商店会の清掃活動に教職員が参加、商工会議所主催事業にも積極的に関わることで地域貢献を果たしているが、2021 年度においては、コロナ禍のため自粛せざるを得なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none">・武蔵野雑学大学との連携・吉祥寺エリアウエストへの教室提供・二葉ファッションマルシェ売上金の一部を寄付・東日本大震災義援金の校内募金箱の設置

最終更新日付

2022 年 4 月 12 日

記載責任者

廣江 真里

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	例年は、教育団体・業界機関、地域との連携・交流を積極的に行っているが、2021年度はコロナ禍のため自粛せざるを得なかった。	・八王子ファッション協議会 ・日本ファッション教育振興協会 ・東専各連、全専各連 ・地域団体、商工会等との連携を行っている。	特になし。 感染拡大防止のため、交流は制限されている。オンラインなど利用する。	・学校ホームページ ・フェイスブックページ
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4	業界団体との勉強会や、公開講座を開講し資源の活用に努めている。	「つくるの教室」というモノ作り教室を開講した。	一般の方を対象に開講したが入会者数が少ない。チラシ投函、SNS を使用し認知度を高める。	・八王子ファッション協議会 ホームページとInstagramとツイッター
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	5	積極的に地域社会と連携している。	地域団体へ教室等の貸し出しを行っている。	特になし。	・武蔵野雑学大学 ・吉祥寺エリアウエスト
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	NA	行っていない。	特になし。	今後取組むべき重要課題として捉えている。	特になし。

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	5	必要に応じ教職員による朝礼、学生・生徒にはホームルーム内で行っている。	教職員へは朝礼にて、学生生徒にはホームルーム内で啓蒙している。高等課程については、キャリアガイダンスの授業にて問題提起。	特になし。	特になし。
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	5	時代に則し取り組んでいる。	地球温暖化及び節電対策の実施。校内における東日本大震災義援金の継続。 年金セミナー、労働条件セミナーを実施。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内掲示物 ・募金箱 ・キャリアガイダンスファイル

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域及び業界団体との連携を積極的に行っているが、2021年度についてはコロナ禍のため自粛せざるを得なかった。地域への貢献、業界団体への貢献を常に教職員は考え、学生・生徒と共有をしている。</p> <p>特に高等課程生徒については、キャリアガイダンスの授業を利用し、様々な社会問題について生徒が能動的に考える機会を創出している。専門課程については、専門教育が大部分を占めるため、その時間確保が問題である。</p>	<p>働き方改革に伴い、生涯学習事業や附帯教育事業が重要になってくると思われる中、その実施方法が課題である。</p> <p>2020年1月に、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標の内、8項目の目標を学校独自に設定、ホームページ上でその取り組みを公表している。</p>

最終更新日付	2022年4月12日	記載責任者	廣江 真里
--------	------------	-------	-------

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	支援体制は整えているが、積極的な活動が行なえていない面がある。	外部へ出向くことは新型コロナウイルス感染拡大防止のため出来なかった。	オンラインで可能な活動も検討する必要がある。	・学校ホームページ
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	2	活動状況を把握している。	日頃の学生・生徒面談及び高等課程では保護者会を通じ把握している。	状況を把握するだけでなく、活動を後押しするような体制作りも今後検討する必要がある。	特になし。

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティア活動については、本来奨励すべきものであるが活動時間の確保等検討すべき課題がある。奨励・支援体制は積極的とはいえない面もある。現在はコロナ感染の状況も鑑みて、学生の自主的な活動に任せている。	特になし。

最終更新日付	2022年4月12日	記載責任者	廣江 真里
--------	------------	-------	-------